

議会 だより



こがし
古河市

第 **67** 号

令和3年6月1日

編集／議会だより編集委員会

発行／古河市議会

ホームページ

古河市議会

検索



初夏の日差しのもと、あざやかに咲くニッコウキスゲ（ネーブルパーク）

令和3年 第1回定例会開催

第1回定例会は3月4日から3月19日までの16日間で開かれ、諮問1件、認定2件、報告3件、議案53件について審議しました。3月11日、12日の2日間にわたり、一般会計予算特別委員会において一般会計、3月15日の特別会計・企業会計予算特別委員会において、11特別会計および水道事業会計、下水道事業会計の予算を審査しました。代表質問は3月16日に行われ、各会派の代表者が登壇し、一般質問は3月17日、18日の2日間行われ、6名の議員が登壇しました。また、最終日に議案1件、議員提出議案2件が追加されました。請願4件については、4ページの請願一覧表のとおりとなりました。

令和3年第1回定例会 議決一覧表

議案等番号	件名	議決日	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	3.3.4	同意
認定第2号	令和2年度古河市一般会計補正予算(第17号)の専決処分の報告及び承認を求めることについて	3.3.4	承認
認定第3号	古河市長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	3.3.4	承認
議案第2号	令和3年度古河市一般会計予算	3.3.19	原案可決
議案第3号	令和3年度古河市国民健康保険特別会計(事業勘定)予算	3.3.19	原案可決
議案第4号	令和3年度古河市国民健康保険特別会計(直診勘定)予算	3.3.19	原案可決
議案第5号	令和3年度古河市古河福祉の森診療所特別会計予算	3.3.19	原案可決
議案第6号	令和3年度古河市後期高齢者医療特別会計予算	3.3.19	原案可決
議案第7号	令和3年度古河市介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	3.3.19	原案可決
議案第8号	令和3年度古河市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)予算	3.3.19	原案可決
議案第9号	令和3年度古河市農業集落排水事業特別会計予算	3.3.19	原案可決
議案第10号	令和3年度古河市ゴルフ場事業特別会計予算	3.3.19	原案可決
議案第11号	令和3年度古河市古河駅東部土地地区画整理事業特別会計予算	3.3.19	原案可決
議案第12号	令和3年度古河市公共用地先行取得特別会計予算	3.3.19	原案可決
議案第13号	令和3年度古河市仁連地区新産業用地開発事業特別会計予算	3.3.19	原案可決
議案第14号	令和3年度古河市水道事業会計予算	3.3.19	原案可決
議案第15号	令和3年度古河市下水道事業会計予算	3.3.19	原案可決
議案第16号	古河市事務分掌条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第17号	古河市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第18号	押印を求める手続の見直し等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	3.3.19	原案可決
議案第19号	古河市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について	3.3.19	原案可決
議案第20号	古河市議会議員報酬等条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第21号	古河市職員の給与に関する条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第22号	古河市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第23号	古河市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第24号	古河市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第25号	古河市国民健康保険税条例の一部改正について	3.3.19	原案可決

議案等番号	件名	議決日	議決結果
議案第26号	古河市開発行為、建築等に関する手数料条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第27号	古河市交通安全対策会議条例の制定について	3.3.19	原案可決
議案第28号	古河市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第29号	古河市保育所設置条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第30号	古河市介護保険条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第31号	古河市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第32号	古河市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第33号	古河市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第34号	古河市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第35号	古河市斎場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第36号	古河市生活環境の保全及び創造に関する基本条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第37号	古河市三和農村環境改善センターの設置及び管理等に関する条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第38号	古河市都市公園条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第39号	古河市運動公園条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第40号	古河市市営住宅条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第41号	古河市立図書館の設置及び管理等に関する条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
議案第42号	R2古河市三和健康ふれあいスポーツセンターアリーナ空調設備設置工事請負契約締結について	3.3.19	原案可決
議案第43号	令和2年度古河市一般会計補正予算(第18号)	3.3.19	原案可決
議案第44号から第52号	令和2年度古河市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)ほか8特別会計補正予算	3.3.19	原案可決
議案第53号	令和2年度古河市水道事業会計補正予算(第4号)	3.3.19	原案可決
議案第54号	令和2年度古河市下水道事業会計補正予算(第3号)	3.3.19	原案可決
議案第55号	古河市副市長の選任につき同意を求めることについて	3.3.19	原案可決
議員提出 議案第1号	古河市議会会議規則の一部改正について	3.3.19	原案可決
議員提出 議案第2号	古河市議会委員会条例の一部改正について	3.3.19	原案可決
動議	倉持健一議員に対する辞職勧告決議及び告発について	3.3.19	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

請願一覧表

番号	件名	提出者	審議結果
令和3年 請願第1号	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書	茨城県労働組合総連合 議長 白石 勝巳	不採択
令和3年 請願第2号	「安心安全な教育環境のための少人数学級を求める意見書」採択の請願	新日本婦人の会 古河支部 支部長 野田 初江	継続審査
令和3年 請願第3号	「唯一の戦争被爆国日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」の採択を求める請願	古河市9条の会 代表世話人 奈良 達雄	不採択
令和3年 請願第4号	「核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書」採択の請願	野田 初江	みなす 不採択 (※)

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

※みなす不採択・・・同一会期で当該請願と同趣旨の議案を不採択としているとき、同趣旨の請願を採決せず、不採択としたものとみなすこと。

賛否の分かれた議案等

○賛成、×反対

議案等番号	政友会					古河市公明党					真政会				市民ベースの会					無党派					
	鈴木隆	佐藤泉	大島信夫	鈴木務	小森谷博之	渡邊澄夫	高橋秀彰	佐藤稔	鶴見久美子	渡辺松男	黒川輝男	赤坂育男	青木和夫	稲葉貴大	園部増治	落合康之	増田悟	倉持健一	阿久津佳子	長浜音一	生沼繁	小山高正	古川一美	秋庭繁	
議案第2号				○					○				○		-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第3号				○					○				○		-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第6号 から第11号				○					○				○		-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第13号 から第15号				○					○				○		-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第21号				○					○				○		-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第22号				○					○				○		-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第23号				○					○				○		-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
議案第29号				○					○				○		-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第30号				○					○				○		-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和3年 請願第1号				×					×				×		-	○	○	○	○	○	○	×	×	○	
令和3年 請願第3号・ 請願第4号				×					×				×		-	○	○	○	○	○	○	×	×	○	
動議				○					○				○		-	×	×	退	×	×	×	○	○	×	

※議長は表決に加わらないため「-」と表示。

※退席議員は「退」と表示。

予算特別委員会開催



一般会計予算特別委員会



特別会計・企業会計予算特別委員会

令和3年度 一般会計、特別会計予算 総額 789億 8,280万円に

令和3年度一般会計、11特別会計および水道事業会計、下水道事業会計予算を慎重に審査するため、正副議長を除く全議員が一般会計予算特別委員会、特別会計・企業会計予算特別委員会に分かれ、3月11日、12日、15日の3日間にわたり、各会計予算の審査を行いました。

各会計予算額

(単位：千円)

会計別		令和3年度	令和2年度(当初)	比較
一般会計		49,500,000	51,300,000	△1,800,000
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	13,685,000	14,133,000	△448,000
	国民健康保険(直診勘定)	63,400	61,700	1,700
	古河福祉の森診療所	139,100	143,500	△4,400
	後期高齢者医療	1,654,000	1,533,000	121,000
	介護保険(保険事業勘定)	11,057,000	10,560,000	497,000
	介護保険(介護サービス事業勘定)	11,400	12,000	△600
	農業集落排水事業	827,400	840,000	△12,600
	ゴルフ場事業	91,000	91,000	0
	古河駅東部土地区画整理事業	957,100	1,324,100	△367,000
	公共用地先行取得	18,300	57,100	△38,800
	仁連地区新産業用地開発事業	979,100	11,000	968,100
合計		78,982,800	80,066,400	△1,083,600

水道事業会計予算額

(単位：千円)

	令和3年度	令和2年度(当初)
収益的収入	2,694,360	2,720,621
収益的支出	2,557,663	2,646,479
資本的収入	765,717	1,358,288
資本的支出	1,638,920	2,400,569

下水道事業会計予算額

(単位：千円)

	令和3年度	令和2年度(当初)
収益的収入	3,194,886	3,299,214
収益的支出	3,184,714	3,298,306
資本的収入	1,179,254	1,032,833
資本的支出	2,127,893	1,939,309

令和3年度予算に対する各会派の意見

政友会

令和3年度の一般会計予算は、コロナ禍の影響により対前年比18億円、3.5%の減だが、未来産業用地開発事業、文化施設整備に向けた検討委員会設置、高齢者世帯へのエアコン購入費等助成など多角的に予算化しており評価する。会派では、コロナワクチン接種会場までの高齢者の移動手段の確保を特にお願いする。

鈴木 隆	佐藤 泉
大島 信夫	鈴木 務
小森谷博之	渡邊 澄夫

古河市公明党

コロナ禍による市税等の大幅な減収の中、感染症対策をはじめ行政サービスの充実と防災減災の推進等、市民の安全安心を優先したバランスのとれた編成となった。新規事業では、センサー方式による高齢者の見守り事業や子育て支援の拡充など、市民生活に密着した予算配分であり、予算に賛成する。

高橋 秀彰	佐藤 稔
藪見久美子	渡辺 松男

真政会

令和3年度予算は、新型コロナウイルス対策を始め、防災、減災、国土強靱化対策と市民の安全を第一に考えた予算編成となっている。同時に持続可能な社会の実現に向け、若い世代の定住促進に向けた経済的支援や企業誘致による産業振興や雇用の確保など市民が希望を帯びる予算であり、高く評価する。

黒川 輝男	赤坂 育男
青木 和夫	稲葉 貴大
園部 増治	

市民ベースの会

新型コロナウイルス感染症の影響により、市税は15億円の減収を見込み、歳入全体で18億円の減となっている。それに伴い、歳出は各事業が軒並み減額されているが、ワクチン接種関連事業等の支出により、衛生費は前年度比4億円の増となっている。ワクチン接種が功を奏し、一日も早い終息を願っている。

落合 康之	増田 悟
倉持 健一	阿久津佳子
長浜 音一	生沼 繁

会派に属さない議員

令和3年度予算は、新型コロナウイルスの影響で縮小の予算編成であるが、新しい生活様式に即した適正配分と考える。

今後、補正予算によるワクチン接種対策の強化を望む。

小山 高正

「愛・あい号」拡充、育児相談体制強化、高齢者見守りサポート事業など市民ニーズに応える事業で評価できる。厳しい財政の中、さらなる事業の精査を求める。

古川 一美

コロナ禍を理由に予算削減を指示、窓口業務の派遣委託、市民サービス切り捨て、不急の「工業団地・文化施設」建設など、大型開発優先の予算に反対する。

秋庭 繁

代表質問

質問と答弁の概要をお知らせします



市民ベースの会

(質問者：落合 康之 議員)

3つの重点施策について

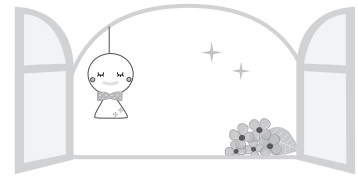
問 ①「新型コロナウイルス対策」の中で、ワクチン接種時に移動手段のない高齢者や障がいのある人等への対応はどの様に考えているのか。②教育文化「人が育ち文化の息づく古河(まち)をつくる」の文化施設建設に向けた取り組みにおいて、整備に関する検討委員会のメンバーは何名か。どの様な方を想定して

いるのか。また、合併特例債発行残高も限られていることから、施設の内容や規模はおのずと限られると考えるがどうか。

答 (市長) ①民間バスやタクシーの利用について検討している。来場できない高齢者等については、高齢者施設での集団接種、訪問診療の方はかかりつけ医との連携をとることとしている。②検討委員会は、市民、関係団体の代表、施設や建築に精通した方を想定しており、なるべくたくさんの方の意見は聞くべきだと考えている。市の財政等を考えた場合、合併特例債に頼らなくても100億円程度の投資は可能である。委員会の中で、内容や規模等を検討していく。

(再質問) 移動手段のない高齢者や障がい者には、民間バスの利用も含めて検討されたい。また、文化施設建設に向けた取り組みに関して、ある程度の青写真が必要だと考えるがいかがか。

答 (市長) ワクチン接種がスムーズにできるよう、よりよい対応を検討していく。文化芸術拠点の青写真について、新たな施設を造るには相互理解が重要であり、現状ではたたき台が独り走りしてしまうと考えているので慎重に対応していきたい。



真政会

(質問者：黒川 輝男 議員)

コロナ対策について

問 新型コロナウイルス感染症対策について、ワクチン接種と感染予防対策の徹底について伺う。

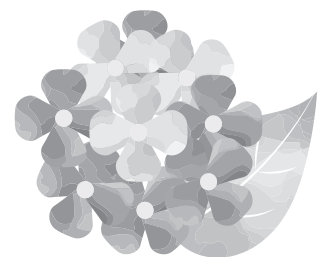
答 (市長) ワクチン接種は、65歳以上の高齢者を対象に予約制で集団接種を行う。古河市医師会の協力を得て、安心して安全なワクチン接種のため、万全の体

制を準備していく。感染予防対策は、マスク配布、次亜塩素酸水の配給、感染防止用備品の購入支援等、さまざまな取り組みを行ってきた。また、感染対策のポイントを市公式ホームページに掲載し、各公共施設等には古河市からのお願いを掲示し、啓発に努めている。また、地域の医療体制の充実のため医療機関へ支援を行っている。

古河市の将来像について

問 人口増を図る施策、市税の増収を図る施策、商業施設や工業団地の誘致策および新駅誘致のための具体的な手法、展望について伺う。また、古河駅前の再開発等の考えも伺う。

答 (市長) 人口減少、高齢化が進む中、都市の活力を維持するためにコンパクトで持続可能な都市づくりが必要である。駅周辺の再開発による定住人口、関係人口の増加や企業誘致により税収増が期待できる。今後は民間企業とも協力しながら、にぎわいのある都市基盤の形成に取り組んでいきたい。また新駅誘致に向け、引き続きJRや茨城県等へ働きかけを行っていく。





古河市公明党

(質問者：佐藤 稔 議員)

「新型コロナウイルス対策」について

問 ワクチン接種業務に特化した「対策室」の業務内容と、運用上の問題点について伺う。

答 (市長) 業務はクーポン券の発送、医療機関等との調整、超低温冷凍庫の配備、市民への情報提供などである。問題点はワクチンの供給量や時期が不確定なことである。

「文化施設建設」について

問 新たなプロジェクトの推進として、文化施設建設に向けた取り組みの開始とあるが、新年度の計画について伺う。

答 (市長) 検討委員会を設置し、ゼロベースから進めたい。市民や関係団体の意向を調査し、基本的な条件や方針を検討する。

「高齢者見守りサポート事業」について

問 これまでの安否確認事業の再編とあるが、その考え方と事業内容について伺う。

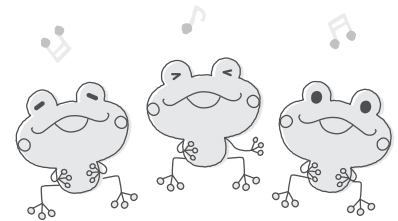
答 (市長) 民間へ事業委託し、緊急通報装置と人感センサーの設置により緊急時の対応だけで

なく、定期的な安否確認を行うなど24時間、365日の見守り体制を確立する。

「ネーミングライツ事業」について

問 市有財産の利活用を目的に実施されるネーミングライツ事業の内容と課題について伺う。

答 (市長) 事業内容は、市内公共施設の命名権を法人に付与することで、課題は、名称変更に伴う市民への周知である。



政友会

(質問者：鈴木 務 議員)

新型コロナウイルス感染症対策のワクチン接種について

問 接種会場が全て新4号国道より西側に偏り、個別接種を望む声や高齢者施設等の従事者への接種優先が望まれる状況で①高齢者への接種を集団接種のみと決めたこと②接種会場を4カ所の病院と、はなもも体育館に決めたことについて伺う。また、③高齢者施設等の従事者への接種順位について伺う。

答 (市長) ①短期間で多くの方へ接種でき、限られたワクチンを有効活用するためである。②接種後の副反応への対応や医療従事者の確保、3密を避けることなどを検討し、判断した。③接種順位は国が定め、自治体独自の裁量には制限がある。

防災減災への対応の耐震促進化計画について

問 ①耐震化の状況と耐震化率②木造住宅耐震改修補助事業全般について伺う。

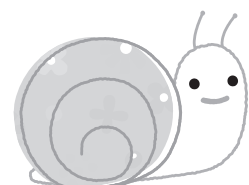
答 (市長) ①平成28年の耐震改修促進計画策定時と令和2年時では住宅が81.7%から85.3%、民間建築物が75.4%から78.9%と着実に耐震化が進んでいる。②昭和56年以前建築の木造住宅

を中心に耐震診断、改修費助成等をしている。

ブロック塀等の安全確保対策について

問 老朽化した危険なブロック塀等の調査および撤去費用補助事業について伺う。

答 (市長) 学校のブロック塀の危険箇所は改修してある。また早急に改修が必要なブロック塀は所有者に対応をお願いしている。補助事業については、通学路に面する危険なブロック塀を対象に撤去費用の補助を行う。



第1回定例会 一般質問

6名の議員が市政を問う



阿久津 佳子 議員

デジタル化の対応について

問 ①市民生活向上、行政運営の効率化や教育推進には、産官学民金連携のもとICTコンソーシアム^(※)の立ち上げがデジタル化推進の近道と考えるがいかか。②超高齢社会やウィズコロナ時代において、オンラインによる生涯学習(学び直し)や市民の多様なニーズを満足させる学習機会が必要と考えるがいかか。③デジタル社会における

※ICTコンソーシアム…情報通信技術事業共同体 ※母語…最初に身につけた言語、最も得意な言語、第一言語

子どもたちの非認知能力・生きる力向上には、母語^(※)で論理的な言葉遣いができること、デジタル機器と共生、人間の生き方や考え方の変革に対応しつつ自己肯定感・自己有用感・自己効力感・思考体力を養うことが求められる。教育現場ではどのように教授していくのか。

答(教育長) ③学校教育の現場でもデジタル化は加速しており、社会変化に対応するため、目標や意欲を持ち、粘り強く学ぶことを重視した教育課程の編成が必要である。また、自然体験や地域行事への積極的な参加を促していきたい。

答(企画政策部長) ①市独自のIT戦略プランを策定し、コン

ソーシアムの手法も含め、民間企業との連携や推進体制の在り方について検討し、デジタル化を進めていく。

答(教育部長) ②高齢者が学びやすい学習機会を提供するため、関係機関と連携を密にしていく。各種講座はオンラインや動画で配信しており、今後も市民の多様なニーズに対応した学習機会を提供していく。



一番身近なデジタル機器(例)



生沼 繁 議員

防災意識の向上について

問 ①マイ・タイムラインは自らの命を守る防災行動計画であるが、一層の普及や啓発の底上げの方策を問う。②現在活動されている女性消防団員数を増やし、女性特有のソフト面を生かした活動が、減災につながり災害に強いまちづくりになるが、その考えを問う。③災害図上訓練DIGや避難所運営訓練HUGを市の小中学校や市の防災訓

練の中に取り入れることで、防災意識が向上し、災害時の協力やスムーズな避難所運営ができるがその考えを問う。④防災士資格の補助金制度を手厚くし、防災活動に意欲を持った人が資格を取得しやすい環境をつくる考えについて問う。

答(市長) ①説明会、出前講座等により普及啓発に努める。6月に予定している地域防災訓練では、マイ・タイムラインを含め実践的な訓練を計画している。②女性消防団員は、2名の新入団予定があり10名になる見込みである。多様な活動参加について消防団本部と協議していきたい。

答(教育部長) ③災害図上訓練

等は、防災意識を高める上で効果的であり、学校の避難訓練と併せて実施できるか検討したい。

答(総務部長) ③災害図上訓練(DIG)、避難所運営訓練(HUG)を地域に広げ、行政自治会および自主防災組織において、啓発が行われることを期待している。④市の補助金制度は、取得費用の2分の1(上限3万円)を補助しているが、今後変更について検討していきたい。



女性消防団によるAED訓練



長浜 音一 議員

新型コロナウイルス感染症対策は

問 ①これまでの支援策の実施状況とその評価。②コロナ感染症対策に関わる臨時交付金とその使途内容。③全力で取り組むとするコロナ感染症対策の今後について伺う。

答（企画政策部長） 支援策は、国の臨時交付金を利用し、生活者支援、事業者支援を市独自に行っており、対策効果が行き渡るよう最大の努力をしている。

今後は、ワクチン接種に向け体制整備を進めていく。

農地を守れ、その対策は

問 市内の耕作放棄地の増加要因とその対策について、特に市街化区域における農地の乱開発防止と保全の観点から、都市計画や生産緑地法、税制度を考えた時、早急、かつ具体的な対応策が必要と考えるがいかがか。

答（産業部長） 耕作放棄地増加の要因は、農業従事者の高齢化や後継者の不足で、対応策は、農地バンクを活用した農地の貸し借り等である。また、生産緑地の指定期間終了により農地から宅地への流動化等が懸念されるため、他自治体の動向を注視

しながら検討を進める。

失われる平地林、その対策は

問 都市における環境保全機能の向上や温暖化防止策を図るには、平地林を「守る・保全」から踏み込み、平地林の再生も視野に入れる必要があるが、「身近なみどり整備推進事業」や「森林環境譲与税」の利活用やSDGs推進の視点に立った今後の保全策を伺う。

答（産業部長） 森林整備計画に基づき荒廃森林を抑制し、計画的な森林保全に努める。



古川 一美 議員

コロナ禍の経済対策について

問 コロナ禍が長期化する中、各人が免疫力を高め感染対策を十分しつつ創意工夫で社会生活を維持しなくてはならない。今、二宮尊徳精神が見直されている。給付金等を支給し続けることは限界がある。今後自助努力を支援する施策が必要と考える。個人事業者に対し事業継続のためのソフト面での支援、また個人の転職・再就職に備えた技能向上に対する支援の考えはあるか。

答（産業部長） 事業転換等を考える事業者に対し無料相談会などソフト的な支援を行う。研修等、教育訓練費用の給付も検討し、国および県の支援についても確実に周知するため商工団体との連携を図る。



委託料の適正について

問 今後税収の減少が見込まれる中、限られた財源を有効に活用しなければならない。①委託契約の約3割を占める競争性のない1社特命随意契約の価格の

適正②委託料の約4割を占める事務委託の考え方について伺う。

答（総務部長） ①積算基準のあるものは、県の単価あるいは物価資料を用い、価格を算出する。積算基準のないものは仕様書を作成し契約相手から参考見積りを徴し精査した上で価格を設定している。②正職員だけで、業務運営に支障が出る場面において派遣委託で対応する方針である。

答（財政部長） ②専門性の高い業務内容で職員には対応しきれない部分のみ外部へ業務委託する方針である。



秋庭 繁 議員

新型コロナウイルス対策について

問 昨年から毎回取り上げているが、新型コロナの感染の封じ込めに多くの自治体が高齢者施設などへの社会的検査（PCR検査）を行っている。古河市で取り組む考えはあるか。また新型コロナの感染防止の取り組みとしてPCR検査等ができる災害対応型ユニットを購入し検査とワクチン接種などに活用すべきと考えるがその導入について伺う。

答（健康推進部長） 社会的検査は、県が福祉施設で抗原検査を実施しており、連携しながら必要な協力、支援を行っていく。

災害対応型ユニットの整備、利用については、市内の検査体制が充足していることから、PCR検査に限定せず多方面から検討していく。



高齢者施設などにPCR検査広がる（しんぶん赤旗より）

会計年度任用職員の雇い止めについて

問 直接雇用の会計年度任用職員を雇い止めし、派遣に切り替

える目的について伺う。

答（総務部長） 派遣への切り替えにより柔軟な人員配置が可能になり、業務の効率化が図られる。会計年度任用職員は1年間の任用で任用期間満了の退職のため、雇い止めには当たらない。

市内循環バスとデマンド交通の要望について

問 停留所の増設および「古河地区にデマンド交通を」の要望が大きくなっていることについて伺う。

答（総務部長） 市民の利便性の向上に努めるため、市内の交通業者と十分に協議しながら、古河市公共交通活性化会議で検討していく。



小山 高正 議員

市民生活について

問 ①軽自動車の不正登録について、市民生活の安全性を損なう軽自動車の不正登録防止への制度改正に向けた、近隣市町村の連携を求めるがいかがか。②河川氾濫時の避難について、逃げ遅れる可能性のある市民はどのくらいいるのか。また、逃げ遅れ犠牲者ゼロを実現するため、さいごの逃げ込み施設での垂直避難の簡略化（ベランダへの外付け階段の設置）を提案す

るがいかがか。

③道の駅の再整備について、利用者ニーズの多様性に対応するため、敷地北側芝生部分へ、ドッグランとドッグトイレの設置を求めるがいかがか。

答（市長） ①首長同士で情報交換をする中で確認させていただく。

答（総務部長兼危機管理監） ②具体的には算出していない。ただし、利根川中流4県境広域避難協議会によると、浸水により居宅に滞在できない市民は4万7,832人である。また、さいごの逃げ込み施設について、市民への周知と避難方法の啓発を行い、誘導する担当職員へも繰り返し研修する。

答（産業部長） ③安全面や衛生

面等において、現状に増して管理が必要なため、設置については指定管理者と十分に協議する。また、利用者からのニーズの高まりに応じて検討していく。



倉持健一元議長の違法建築、及び脱税に関する疑惑解明 調査特別委員会最終報告について（抜粋）

I 設置及び趣旨

令和 2 年第 3 回古河市議会定例会において、動議により地方自治法第 100 条第 1 項に基づく調査特別委員会が設置され、倉持健一議員の古河市議会議員としての信用失墜行為の真相解明、及び市議会議員として古河市議会の権威、品位を毀損させ、かつ固定資産税の不納という古河市に対して損害を与えている疑いを明確にするため、21 名の委員により 11 回にわたる会議を開催し、倉持健一議員、執行部等関係者への証人尋問等により真相解明を行った。

II 調査項目

倉持健一議員の自らの農業用に供する鉄骨造りの作業所を含む自宅並びに南側隣接地内におけるすべての建築物の建築確認等の公的手続き及び固定資産税他納税義務に関する調査を行う。

III 調査報告

本委員会の証人尋問の際に、倉持健一議員は「息子がやった」「実印も息子が持っている」等の証言を行ったが、最終的に倉持健一議員が執行部へ提出した建築基準法第 12 条第 5 項に基づく報告書においては、報告者と建築主がともに倉持健一議員本人であることから、証人尋問の証言と報告書が矛盾している。また、議長が記録提出請求を行った記録については未提出であった。

① 建築確認等の公的手続きをせずに建築

ア. 建築確認に関する手続きについて：調査対象となる建築物は 23 棟であり、そのうち 19 棟は建築確認申請書の提出を要するが、1 棟を除いた 18 棟は申請を怠り建築されていた。

イ. 農地転用に関する手続きについて：転用許可が取得されている土地もあったが、農地法に基づく法的手続きがなされずに建築物が現存する土地が 4 筆あった。

② 固定資産税他当該施設に関わる納税義務について

倉持健一議員及び倉持健一議員が代表取締役となっている有限会社倉持農園サービスが所有する建築物 13 棟中の 6 棟が課税を免れていた。令和 3 年度に新たに課税される固定資産税課税相当額は約 321 千円となり、本来課税されるはずの不動産取得税、建築物の完成後にそれぞれの建物が課税されるはずの固定資産税も免れていた。

IV 総括

倉持健一議員は古河市議会議員であり、本来遵守しなければならない古河市議会基本条例第 22 条第 2 項の規定において、議員は高い倫理的義務が課せられていることを十分自覚し、市民の負託に応えるためその品位を保持しなければならない立場にあるが、その自覚や品位が欠けていると言わざるを得ない。

今回判明した倉持健一議員の行った行為は、古河市民に大きな影響を残すものであり、議会の権威、品位を毀損させ、市議会議員としての信頼も失墜させるものであり深く反省しなければならない。

その上で、今後も執行部が求める法的手続きに必要な措置については、自ら進んで協力し、すべての法的手続きが早急に完了するよう求めるものである。

また、執行部の関係する所管課等は情報を共有して連携を強化し、過去の違反事案の是正措置と同様な指導を求めるとともに、固定資産税の過年度分の課税を要望するものである。

令和3年3月19日

倉持健一元議長の違法建築、及び脱税に関する疑惑解明調査特別委員会
委員長 青木 和夫

倉持健一議員に対する辞職勧告決議及び告発について

令和3年第1回定例会最終日に、倉持健一議員に対する動議が鈴木隆議員ほか15名より提出され、本会議において賛成多数で可決されました。

内容

調査特別委員会の証人尋問の際に倉持議員は「息子がやった。」「実印も息子が持っている。」等の証言をしたが、最終的に倉持健一議員が執行部へ提出した報告書においては、報告者と建築主が倉持健一議員になっていることから、調査特別委員会での証言は虚偽の証言であったことが明らかとなった。

さらに議長が記録提出請求を行った、倉持健一議員が建築した際の請負契約書の写しと建築代金の支払い領収書写し等については、提出期限内に提出されなかった。

今回判明した倉持健一議員の行った行為は、議会の権威、品位を著しく毀損させ、市議会議員としての信頼を大きく失墜させるものである。

以上のことから古河市議会は、倉持健一議員に対し自らの反省と判断で速やかに辞職することを強く求めるとともに地方自治法第100条第3項及び同条第7項の規定により、記録の未提出並びに虚偽の陳述により司法機関へ告発する。

令和3年3月19日
古河市議会

この人に決まりました！

～清水丘診療所事務組合議会議員～

令和3年5月19日で清水丘診療所事務組合議会議員の任期が満了となるため、指名推選により、次の7名の議員が選出されました。

鈴木 務	阿久津 佳子	霧見 久美子	大島 信夫
赤坂 育男	増田 悟	倉持 健一	

議員研修会を開催しました



去る2月19日、中村祐司氏（宇都宮大学地域デザイン科学部教授）を講師に招き、「コロナ禍における地方創生戦略」をテーマに、全議員参加のもと議員研修会を開催しました。

議会の傍聴について

傍聴の際は、マスク着用を含む咳エチケットをお願いいたします。また、体調のすぐれない方（咳・発熱など）は、傍聴をお控えくださいますよう、ご協力をお願いいたします。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴者の人数を制限しております。インターネット中継も行っておりますので、下記の2次元コードよりご視聴ください。

第1回定例会の傍聴者数

本会議	29人
委員会（特別委員会）含む	9人
合計	38人

※傍聴者数は延べ人数

◆◆◆ 令和3年 第2回定例会の会期予定 ◆◆◆

月 日	会 議	内 容
6月8日(火)	本会議	開会、議案の説明
6月9日(水)	休会	議案調査
6月10日(木)	本会議	質疑、議案の委員会付託
6月11日(金)	常任委員会	総務常任委員会、産業建設常任委員会
6月14日(月)	常任委員会	文教厚生常任委員会
6月15日(火)	本会議	一般質問
6月16日(水)	本会議	一般質問
6月17日(木)	本会議	一般質問
6月18日(金)	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

○時間は午前10時からの開催予定です。
 ○産業建設常任委員会は午前10時15分からの開催予定です。
 ※変更される場合もありますので議会事務局までお問い合わせください。

議会の様子・会議録 を見てみよう!

古河市議会ホームページ、または下記2次元コードからご覧になれます。

2次元コード



議会中継



会議録

編集後記

新年度スタートとともに新型コロナワクチン接種も始まりました。ワクチン接種が奏功し、市民の皆さまの日常が早期に戻ることを願っております。

第1回定例会では新年度予算や議案の審議、会派代表質問や一般質問等を行いました。地方自治体のデジタル化加速による新しいまちづくりとともに、市民の皆さまの議会への関心や期待に添うべく、より親しまれる議会広報を展開してまいります。

副委員長 阿久津 佳子

【議会だより編集委員会】

委員長 鈴木 務
 副委員長 阿久津佳子
 委員 小森谷博之 稲葉 貴大
 高橋 秀彰 生沼 繁

古河市議会事務局
 古河市長谷町38番18号
 ☎ 0280-22-5111 (代)



環境にやさしい植物油インキを使用しています